

地域＋学校＝防災改革

首都直下型地震・南海トラフ地震を乗り越えるための 学校と連携した地域防災の力

「持続可能な地域社会のための教育～まちづくりと防災教育～」

Before これまでの震災の反省・地域防災の悩み	After 北綱島小・太尾小の実践
地域も学校も災害想定や対応への考えがばらばら 初期対応の誤りや遅れで甚大な被災	地域・学校・保護者が地域の防災を継続協議 学区の対応マニュアル 自治会が保護者児童へ防災教育
シルバー防災 地域防災訓練は、ほとんど高齢者 子どもは地域防災を知らず、保護者層は無関心	児童・保護者が授業として地域防災拠点訓練に参加 自治会マンション初期対応訓練に児童、保護者参加
自治会未加入の人やマンションと地域の乖離 顔の見えない地域社会	自治会未加入の児童、保護者も訓練に参加 自治会未加入のマンション等も地域防災に参加
子どもは、地域の自然や災害、防災に尽力する地域の 人に学ばずに育つ	各教科のカリキュラムに横断的に位置付けた防災教育 子どもは、地域の災害リスク・防災に尽力する人に学ぶ

- 日時：2018年8月25日(土) 13:30～16:30
- 場所：神奈川大学横浜キャンパス 16号館セレストホール
- 講師：元横浜市立長津田小学校校長 鷲山龍太郎氏
- 話題提供(パネリスト)：

横浜市立北綱島小学校校長 昆しのぶ氏
太尾小地域防災拠点運営委員会会長 秋本健一氏
北綱島小地域防災拠点運営委員会副会長 垣中祐二氏

- 主催「神奈川大学大規模災害対策プロジェクト」
- 後援 神奈川大学 横浜市教育委員会 神奈川県
神奈川新聞社 かながわ人と智の防災・減災ネットワーク 防災塾・だるま

- 参加費 無料 ■ 申込先：裏面参照(事前申込み)

1995年阪神・淡路大震災や2011年東日本大震災における経験から、地域防災の重要性や、地域の防災拠点となりうる小中学校と地域防災との連携のあり方が課題として浮き彫りになってきた。本シンポジウムでは、これまで地域の学校と地域社会を連携した地域防災活動を進めてこられた鷲山先生にお越し頂き、その活動の基本的な理念と内容・方法論をお話し頂く。また、地域防災と学校教育の連携を实践されている、現任校長・地域防災リーダーの皆様にもお越し頂き、話題提供を頂くとともにパネルディスカッションにおいても重要な視点について討論をお願いする。

■ プログラム

- 13:30～13:40 開会挨拶
- 13:40～14:30 鷲山氏提案
- 休憩
- 14:45～15:45
パネルディスカッション
- 15:45～16:15 質疑応答
- 16:15～16:30 閉会挨拶



地域防災訓練に児童・保護者が参加



教育課程に位置付けた防災教育



保護者層の地域防災への参加

「学校と連携した地域防災の力」講演・パネルディスカッション視点

震災の教訓から得られる課題

- (1) 地域と学校で、適切な避難行動などが共有されてこなかったために、子どもや地域の人命に甚大な被害が出ている例がある。この現状は、今も多くの地域で言えることではないか。
- (2) 地域防災を熱心にしても、学校で防災教育が行われても、地域と学校に乖離があると減災が困難では。
- (3) 小学生は学校にいる時間は1年間の20%もなく、家庭・地域で被災する確率が高い。東日本大震災は、児童在校時間帯だったが、夜間等に起きた時には、人的被害はさらに厳しいものになったと考えらえる。
学校で机の下に潜り、校庭に避難する訓練だけで、児童の命は守れるか？

成果と未来への期待

- (1) 地域防災が、児童・保護者層とつながることができた。
- (2) 火災などの地域災害リスクへの児童、保護者層への教育。年を重ねれば地域住民の多くに浸透を期待。
- (3) 学校を拠点とした、地域社会の「再構築」「活性化」が進んだ。
- (4) 各自治会の「地区防災計画」への布石となる、防災行動への啓発が児童や保護者にされた。

講師・パネラー プロフィール
<p>鷺山龍太郎 氏 北綱島小学校長、太尾小学校長、長津田小学校長を歴任 地域・保護者・職員と連携して、学校を拠点とした地域防災と防災教育を推進。</p>
<p>昆しのぶ 氏 現北綱島小学校校長 防災教育をESDの一環として位置付け、研究者と連携して防災教育カリキュラム・マネジメントを推進。</p>
<p>垣中 祐二 氏 北綱島小学校地域防災拠点運営委員会副会長 元同校 PTA 会長 一級建築士 港北消防団第四分団一班班長 地域の防災リーダーとして活躍</p>
<p>秋本 健一 氏 太尾小学校地域防災拠点運営委員会会長 太尾小学校学校運営協議会会長 宮前町会会長 市立中学校長・海外日本人学校長を歴任</p>



神奈川大学：正門で確認ください

- * 東横線東白楽から徒歩15分
- * 駐車場はありません。電車・バスをご利用ください。

参加申込書 (8月15日迄受付)

お名前 と 所属	
電話番号 又は メールアドレス	
<p>■ 定員 300名</p> <p>★ Fax からの申込み : 045-491-7915 (神奈川大学大規模災害対策プロジェクト 荻本迄)</p> <p>★ Eメールからの申込み: nakajima.mitsu@jupiter.ocn.ne.jp</p> <p>★ 特に変更等の連絡がない場合は当日、時間までにご来館ください。</p> <p>★ 申込に登録された個人情報は、当シンポジウムの運用以外には使用いたしません。</p>	